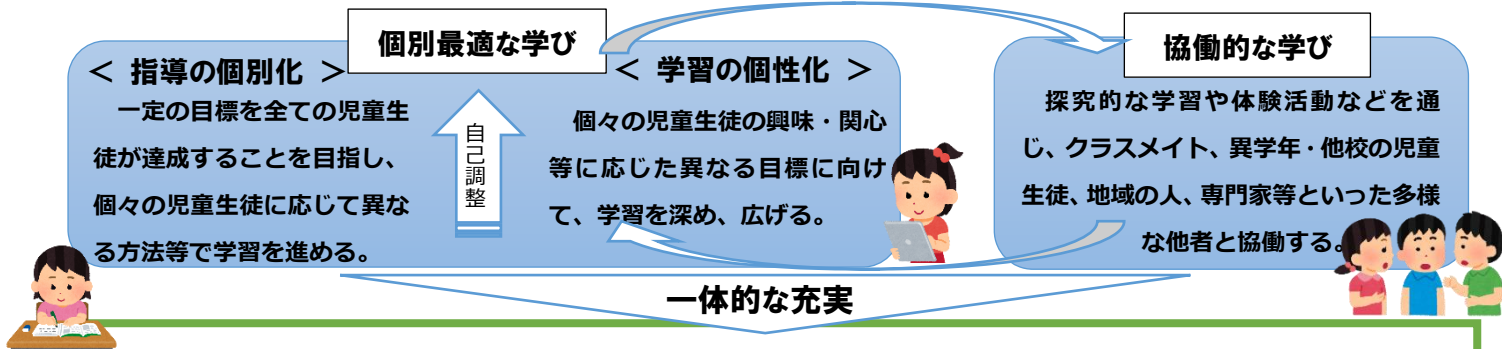


令和5年度「確かな学力」を育成するための授業改善シート

児童生徒の「確かな学力」の育成を推進するために、目指す資質・能力を明確にし、以下の視点を大切にしながら、日常の授業づくりに取り組みましょう。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実という観点から学習活動の充実の方向性を改めて捉え直し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を図ることで資質・能力を育成することを目指します。



目指す資質・能力の育成につながる「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善

- ☆ 「学校として育成を目指す資質・能力」についての**共通理解**を図り、各単元で育成を目指す資質・能力をより**具体的に想定**し、**児童生徒と共有**する。
- ☆ 単元を通して育成を目指す資質・能力に照らして評価規準を設定し、**評価場面を精選**して位置付けることにより、**教師の指導改善と児童生徒の学習改善**に生かす。
- ☆ 児童生徒が**各教科特有の見方・考え方を働かせながら**、「**課題—まとめ—振り返り**」に一貫性がある**学習活動を設定**する。
- ☆ 児童生徒が自ら必要な情報を取り出したり、分かりやすく整理したりするなどの**情報活用能力の育成**につながるようにICTを効果的に活用する。

視点1 質の高い学びにつながる「課題の設定」

- 児童生徒が**自ら既習の内容を想起し、見通しをもって取り組む**ことができる学習課題を設定する。
- 児童生徒の**課題意識を醸成**することができるように、生活や学習の中で**自ら気付いたことや多様な「問い」**を受け止める。

視点2 思考の深まりにつながる「学び合いの充実」

- 児童生徒が自ら目的をもって課題解決のための情報を集め、互いの考えを**関連付けたり吟味・検討**したりする学習過程の充実を図る。
- 児童生徒が**目的や条件に応じて説明する場**を設け、自他の考えを共有する。
- 児童生徒が**自己選択**や**自己決定**できる場を学び合いの中に位置付ける。
- 児童生徒が**考えをより確かなものに**することができるように、他者の考えを取り入れながら**自分の考えを再構築**したり、**まとめたりする時間を保障**する。

視点3 学びの自覚と次の学びにつながる「まとめ・振り返りの充実」

- 児童生徒**自らが学習課題に即したまとめ**る場を設定する。
- 児童生徒が単元を通して**自分の成長や変容を自覚**することができるように、振り返りの場を**意図的・計画的に設定**する。
- 児童生徒が**学んだことや気づきを次の学びや家庭学習につなげていく**ことができるように、児童生徒の振り返りを**適切に評価し、価値付ける**。